



令和4年10月25日

国道335号^{しべつ}標津防災における新しいルートが 令和4年10月31日（月）9時に開通します

～海岸浸食による道路損壊及び危険箇所が解消されます～

釧路開発建設部が整備を進めている国道335号標津防災における新しいルート（延長3.8km）が下記のとおり開通しますので、お知らせいたします。
新しいルートへの通行切替作業時には10分程度の通行止めが発生いたします。
道路利用者の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1. 開通区間 国道335号標津防災 標津郡標津町字崎無異地内
延長3.8km
2. 開通日時 令和4年10月31日（月）午前9時
※工事の進捗により開通日時を変更する場合があります。
※詳細な通行方法は別紙をご覧ください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部
(事業全般) 道路計画課 課長 中村 雄貴 電話 0154-24-7268(ダイヤルイン)
(通行切替) 中標津道路事務所 道路施工保全官 小城 信彰 電話 0153-72-6517(ダイヤルイン)

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>

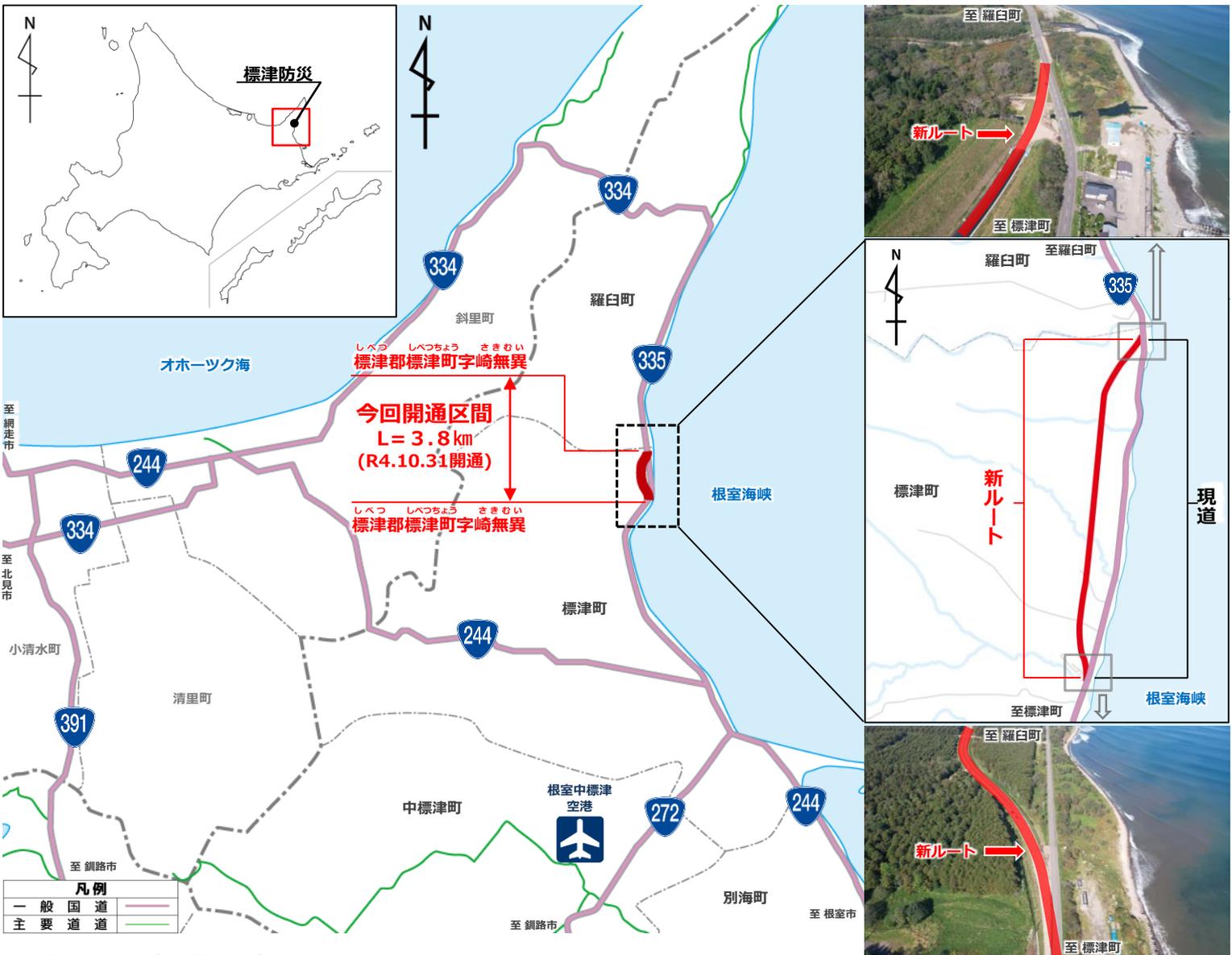
公式Twitterアカウント https://twitter.com/mlit_hkd_ks



しべつ 国道335号 標津防災 延長 3.8km 令和4年10月31日（月） 開通

- ◆ 国道335号は、羅臼町を起点に標津町へ至る延長約42kmの幹線道路です。
- ◆ 今回開通する標津防災は、標津町字崎無異地区において、海岸侵食を要因とした道路損壊及び危険箇所を回避する新たなルートを構築し、道路の安全な通行を確保することを目的とした延長3.8kmの防災対策事業です。

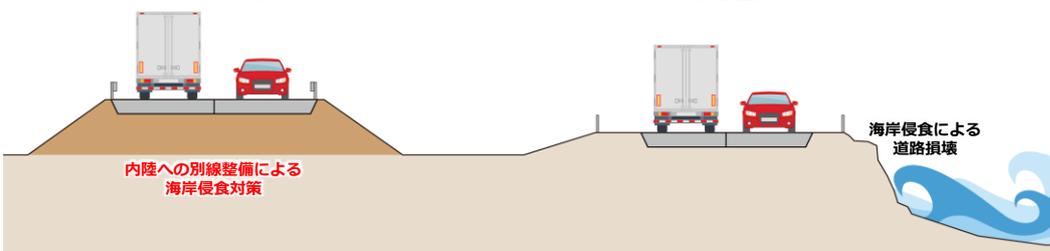
●事業位置



●標準断面図（開通区間）

【新ルート】

【現道】



道路交通の安全性・走行性の向上

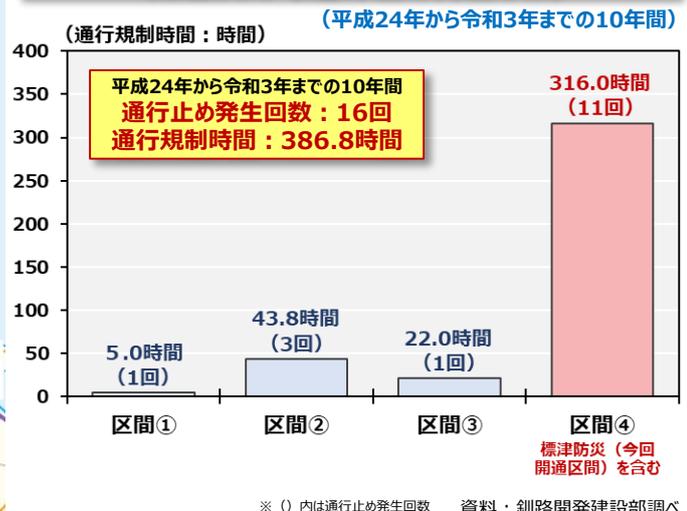
一般国道335号 標津防災

- ◆ 国道335号は、国道334号（知床横断道路）が全面通行止めとなる冬期（11月～4月）には、羅臼町民にとって人流・物流を支える唯一の道路として重要な役割を担っています。
- ◆ 国道335号には、海岸浸食等の危険箇所が存在しており、過去10年間で延べ386.8時間（16回）の全面通行止めが発生しています。また、現道に平行する迂回路がない区間が存在することから、通行止め時には広域な迂回を強いられます。
- ◆ 今回の開通により、海岸浸食等の影響を受けにくい山側のルートに切り替わることで、危険箇所の回避による通行止めリスクの低減や道路交通の安全性向上などの効果が期待されます。

当該事業区間の海岸侵食の発生状況と災害対策工



国道335号通行止め発生状況



地域の声 (羅臼町役場)

- ・ 国道335号は、羅臼町の住民にとって特に冬期はライフラインといえる重要な道路です。
- ・ 標津防災の整備により、通行止めの心配が無くなるため、羅臼町産の水産品の安定輸送や、釧路市方面への確実な救急搬送など、多くの効果を期待しています。

水産品および生活必需品の 安定輸送を支援

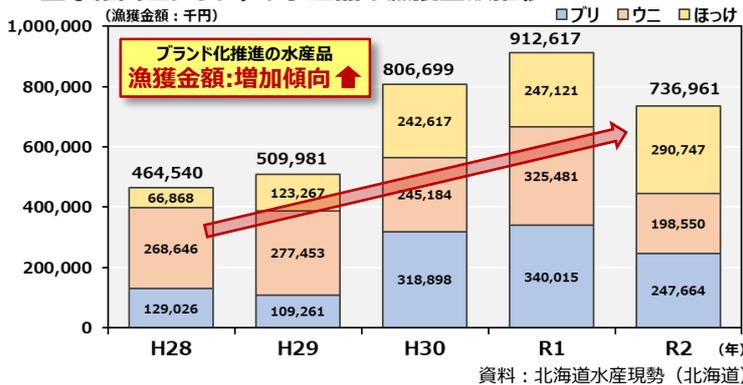


一般国道335号
標津防災

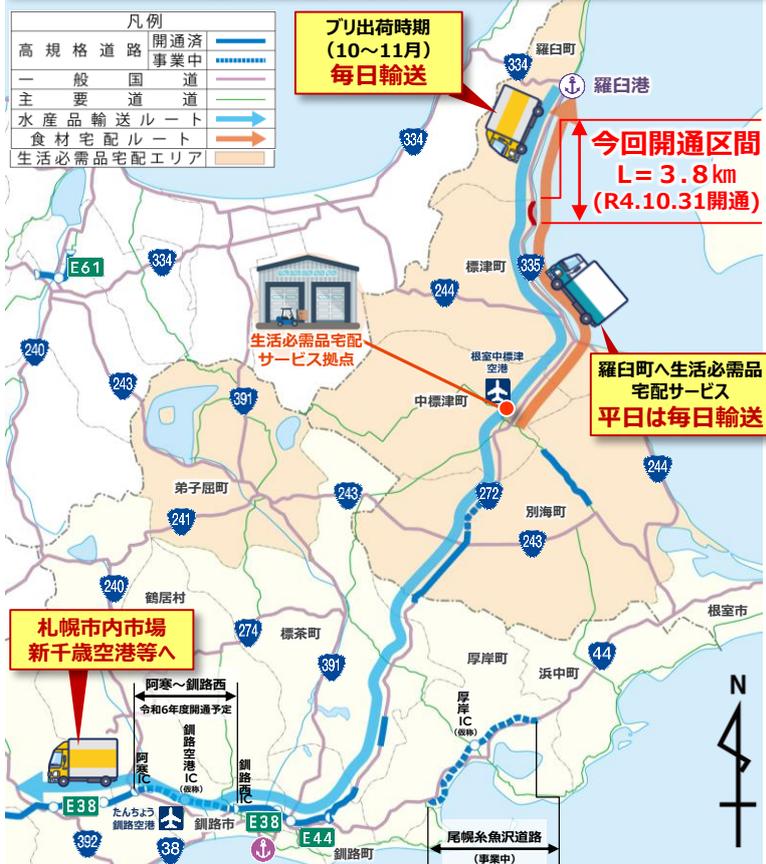
- ◆ 羅臼町では、平成28年より、優れた地域産品を『知床らうすブランド』として認定し、差別化を図っており、ブランド化を進めているブリやほっけ、ウニなどは漁獲金額が増加。
- ◆ また、生活必需品の宅配サービスを利用する世帯が増加傾向にあり、冬期に国道335号が通行止めとなった場合、生活必需品の宅配が出来なくなります。
- ◆ 水産品輸送や生活必需品宅配サービスの唯一の輸送ルートである国道335号において、当該区間の整備により安定した輸送を支援します。

羅臼町のブランド化推進の水産品

● 主な羅臼産ブランドの水産品の漁獲金額推移



羅臼町産水産品・宅配サービスの輸送状況



TOPIC 『知床らうすブランド』

- ・ 優れた特性を有し、「世界自然遺産・知床」「魚の城下町・らうす」の知名度とイメージ向上への貢献が期待できる農林水産物ならびに加工製品を平成28年より『知床らうすブランド』として認定。
- ・ 現在、“活メブリ”や“鮭児”、“羅皇”など55品目が認定。



地域の声 (羅臼漁業協同組合)

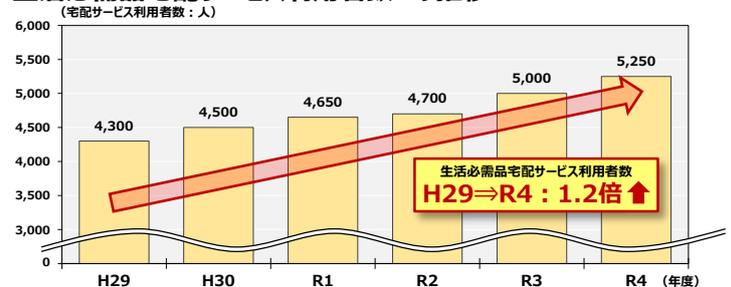
- ・ 羅臼町で水揚げされるブリは非常に脂のりが良く、北陸4県の寒ブリと比べても遜色ない品質となっている。そのため、『知床らうすブランド』の活メブリは、高い単価で取り引きされています。
- ・ 国道335号は、水揚げされた水産物を町外へ輸送する唯一の経路であることから、通行止めになった場合は、漁に出ることも取りやめるため、漁師の収入に影響がでます。そのため、水産品の安定輸送に貢献する当該区間の整備に期待します。

地域の声 (羅臼町役場)

- ・ 国道335号は、羅臼町の住民にとって特に冬期はライフラインといえる重要な道路です。
- ・ 標津防災の整備により、通行止めの心配が無くなるため、生活必需品の宅配サービスの確実性向上など、多くの効果を期待しています。

生活必需品の宅配サービスの確実性

● 生活必需品宅配サービス利用者数*の推移



*中標津町生活必需品宅配サービス拠点配送エリア内：中標津町、別海町、標津町、羅臼町、弟子屈町

救急医療体制の確保に貢献



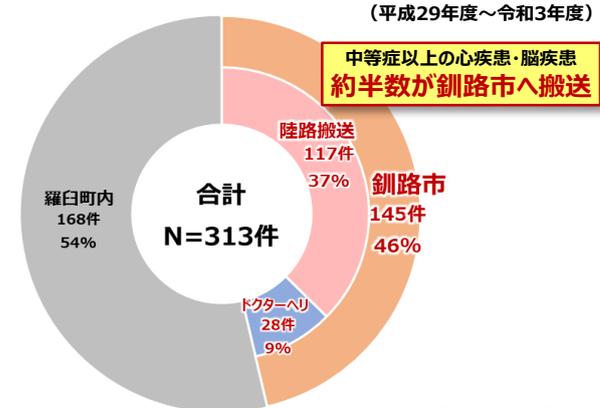
根室北部消防事務組合 羅臼消防署 (羅臼町)

一般国道335号
標津防災

- ◆ 羅臼町内では、心疾患や脳疾患などの高度・専門医療を必要とする疾病への対応を、町外の救命救急センターや急性期医療機関に依存しており、中等症以上の心疾患や脳疾患では、約半数が釧路市へ搬送されています。
- ◆ 特に、心疾患・脳疾患により救命救急センターのある釧路市へ搬送する際は、平成29年度から令和3年度までの過去5年間で117件が、国道335号を経由しています。
- ◆ 羅臼町は天候不良などが原因によるドクターヘリの未出勤率が高く、陸路の確保が重要なため、当該区間の整備により、安定した救急搬送に寄与します。

心疾患・脳疾患による救急搬送状況

● 中等症以上の心疾患・脳疾患の救急搬送件数 (平成29年度～令和3年度)

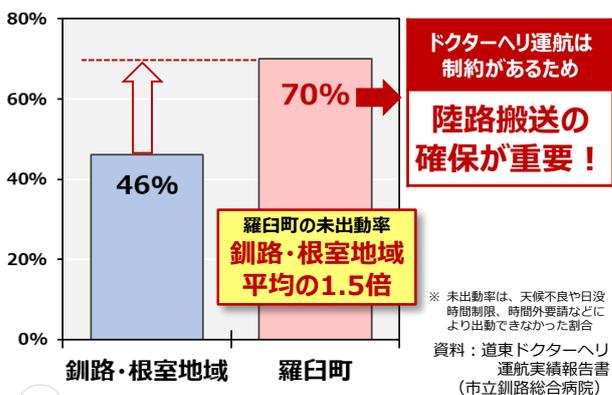


救急医療体制と町外搬送状況



ドクターヘリの運航状況

● ドクターヘリ未出勤率※ (令和2年度)



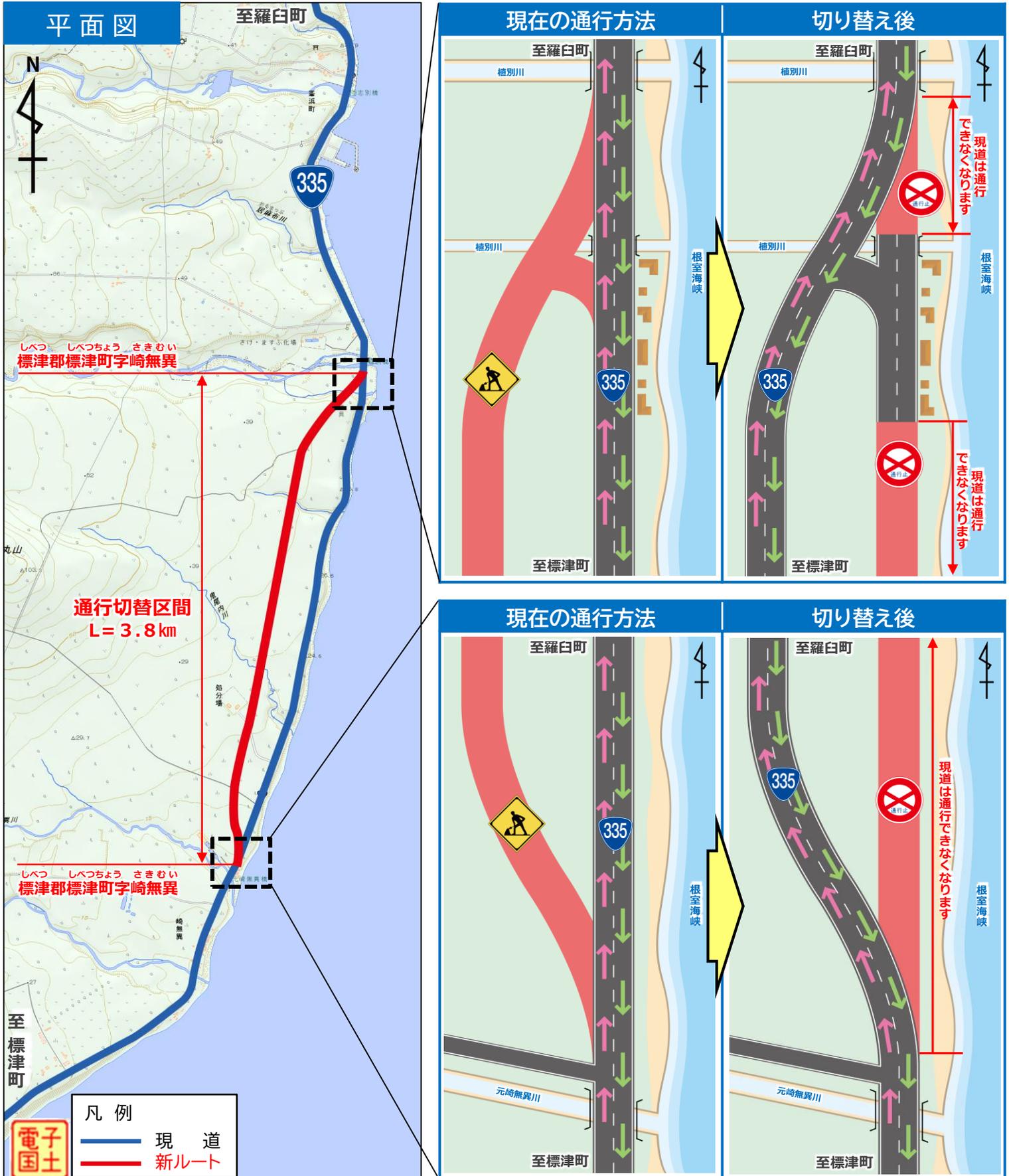
地域の声 (羅臼消防署)

- ・ 羅臼町から釧路市への搬送は多く、ドクターヘリの未出勤率が高いため、陸路搬送の確保が非常に重要であると認識しています。
- ・ 今回の国道335号標津防災の整備により、通行止めの心配がなくなるほか、道路線形が改良されることにより、安定した救急搬送に繋がります。

| 凡例 | |
|-------|---------------|
| 高規格道路 | 開通済 |
| 一般国道 | 開通済 |
| 主要道路 | 開通済 |
| 医療圏 | 釧路・根室3次医療圏 |
| 医療機関 | 救命救急センター |
| | 急性期医療機関 (心疾患) |
| | 急性期医療機関 (脳疾患) |
| | ドクターヘリ基地病院 |

新しいルートに切り替わります！

令和4年10月31日(月)午前9時から、新しいルートへの通行切り替えを行いますので、通行にはご注意ください。



～ 一時通行止めについて(お願い) ～

- ・新しいルートへの通行切替作業に伴い、午前8時50分から10分程度の通行止めが発生します。
- ・道路利用者の皆様には大変ご不便をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力をお願いします。